

ロシア為替週報

2022年5月23日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

＜過去1週間の動き＞

(5月14日～5月20日)

USD/RUB: 59.250～65.800

過去1週間のロシア・ルーブル相場は、対ドルで、60台半ばにおける膠着から、19日以降水準を明確に切り上げ、20日には一時60.0を上抜け2018年4月来の高値を更新した。17日には、米イエレン財務長官が、ロシアのドル建債務支払を可能にしていた制裁免除措置に関し、「時限措置だと見込まれていた」と述べ、打ち切られる公算が高い(=債務支払を不可能にする)と述べた。更に18日、欧州委員会がEUの燃料政策をまとめたRePowerEU計画を発表。ロシアからの天然ガス供給を2023年末までに断ち切る方針(従来の2025年後半までから前倒し)を示すなどした。いずれも、ロシア経済、ルーブルにとっては売り要因と読めたはずだが、ルーブルは無反応。19日のルーブル上昇は、前18日の欧州市場引け際に発表されたロシア第1四半期GDP速報値(市場予想は僅かに下回ったものの、しっかりとした成長と言えた)を好感したルーブル買いとも考えられたが、同時にドル全面安の結果のようにも見えた。この局面のドル安は、米株の急落を受けた「リスク回避」の動き=米国債上昇(利回りは低下)、円高に加え、スイス国立銀行ジョーダン総裁の「インフレ圧力が続けば、行動する準備がある」との発言を受けたスイス・フランの上昇(フラン買いはリスク回避の文脈にも乗っていた)などがけん引した。20日のルーブル続伸の背景は不明。ドル全面安の流れは収まっており、ルーブル固有の買い要因の存在が想定されたが、それらしい材料は見つけられなかった。単なる推測の域を出ないが、60.0を一気に上抜け、急反落した値動きからは、60.0抜きの損切り(ルーブル)買い注文を強引につけにいったなどのテクニカルな値動きが疑われた。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
5/16	12:45	国民福祉基金残高(USD)	4月	155.0bn		155.2bn
5/17	10:10	財政収支(RUB/年初来)	4月	1041.2bn	+900.0bn	+1151.1bn
5/18	16:00	GDP(前年比)	Q1 A	+3.5%	+3.7%	+5.0%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

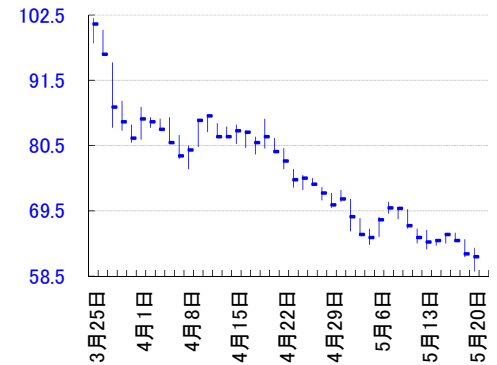
＜向こう1週間の見通し＞

(5月21日～5月27日)

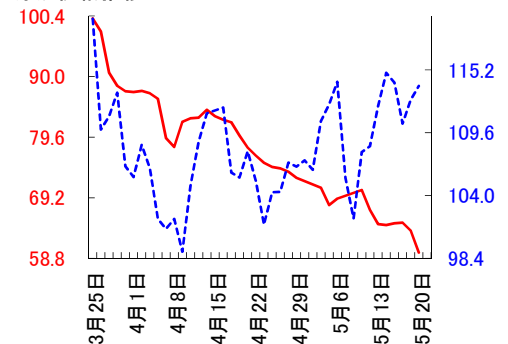
USD/RUB: 60.50～64.50

向こう1週間のロシア・ルーブル相場は、上値の重い横ばいを予想。上値の重さを見込むのは、強引に60.0(対ドル)を上抜け、急反落するような値動きが「気に食わない」から。ルーブルの需給はロシア輸出(ルーブル買い)>ロシア輸入(ルーブル売り)に大きく傾いた状態が当面続くものと見込まれるし、制裁や規制でがんにがらめになったルーブル相場が、実需だけで漂う状況にも、当面変化は見込めないだろう。それでも、特段のルーブル買い材料も見当たらない中、2営業日で5ルーブル以上も急騰するような値動きは、いくら(5営業日ばかり)膠着が続いた後でも、強引に過ぎるようになる。こうした値動きは、どのような相場でも起こり得るが、(オフショア)ルーブル市場の流動性が極端に低下している可能性を示唆するし、「健全」な相場環境とは言えないだろう。実需と言っても、毎営業日均等に出てくるものではなく、基調的なルーブルじり高の合間に、周期的な頭打ち(調整安)を見るような値動きは、4月以降、度々繰り返されてきている。目先のルーブル頭打ちを見込むのも、そういった「巡り」を見込むだけのことに他ならない。中期的には、引き続き、ロシア経常/貿易黒字(ルーブル買い>ルーブル売り)を反映したルーブル高基調を中心に見込むものの、やはり引き続き、ロシア当局の思惑次第で、ルーブル安方向への大幅な水準調整の可能性も警戒する。記録的なロシア経常黒字の主因は、西側制裁によるロシア輸入の急減以上に、天然ガス価格の歴史的な急騰と考えられるが、3月以降のロシア貿易収支の発表が見送られたままの現状で、確認のしようがない。経常収支が試算されている以上、貿易収支の数字も(少なくとも概算値ぐらいは)出ているはずだが、ロシア当局がそれを発表しない要因は想像もつかない。それでも、ロシア当局がこれ以上のルーブル高(=ルーブル建て歳入圧縮要因)を歓迎するとは考え難い。ロシア中銀が、19日、外貨購入制限を緩和した(注)のも、これ以上のルーブル高を抑制したい当局の意向を反映した判断と受け止められる。

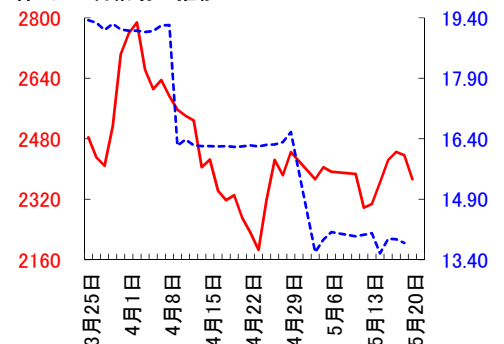
USD/RUBの推移 (日足/ロンドン7:00～17:00)



株ルーブル/バスケット推移 (ロシア中銀公示)
原油価格推移 (ブレント直物)



株式/金利相場の推移 (MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		14.00%
成長率(GDP/前年比)	Q1	+3.5%
失業率	3月	4.1%
消費者物価(前年比)	4月	+17.83%
小売売上高(前年比)	3月	+2.2%
鉱工業生産(前年比)	3月	+3.0%
貿易収支(USD)	1月	+21.2bn
経常収支(USD)	Q1	+58200mln

(注) ロシア居住者による、ドル、ユーロ以外の外貨(現金)の購入制限を撤廃

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。